

寺
ごよみ

一月

一日 除夜の鐘

年頭参り

一三日 法要準備

御正忌

一五日午後一時半 法要
一六日午後一時半 法要

ほんこさまについて

コロナ感染予防のため、お茶お菓子のご接待は遠慮させていただきます。年会費は一万一千円です。どうぞよろしくお願い致します。



寺 報
ぜん ぎょう 巧

発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
<http://www.zengyou.net>

親鸞聖人の祥月命日
御正忌

一月十五日、十六日



善巧寺の本堂は明治十四年に建立されました。当時はコレラが蔓延

して、明治十二年には富山県だけで一万人以上の死者が出たという記録があります。その年の過去帖を見ると、八月だけで百人以上のお名前が記されていました。コレ

ラは江戸末期から数十年にわたって続き、明治十九年にも再び県内で一万人以上の方が亡くなっています。

そんな過酷な状況の中で、現在の本堂は建立されました。しかも、それまでの本堂では手

狭ということで、ひと回り大きなサイズになりました。まわりで人がバ

タバタと亡くなっていく最中、二、三百人の収容

が想定されていたことに驚きを隠せません。

現在とは社会状況が大きく違うので比較にはなりません。今回のコロナウイルス騒動でも、改

居場所

めてお寺の存在意義が問われ、見つめ直す機会になりました。

七年前の大法要では「みんなのお寺 わたしのお寺」というスローガンを掲げました。ひと昔前の方たちは、嫁いづくに「お寺へ参りなさい」と有無を言わず足を運ぶことになり、そ

こでコミュニティに入り、仏さまの教えに触れ、五〇年以上通い続けた方たちがおられます。長い年月を経て、いつしか第二の家としてお寺が居場所となりました。昨今、「居場所」という言葉をよく

耳にしますが、即席で叶うものではなく、じつくりと腰を据えて苦楽を共にした中で生まれるものでしょう。

価値観の変化に適応しつつも、大事なところを踏み外さずに歩んでいきたいです。

雪山俊隆

報恩講

十月十八〜二十日

今回はコロナ禍を考慮して三日間の地域分散型でつとめました。ほっこり法座のレギュラー講師三名に各日お話いただき、境内の親鸞聖人像にお花をお供えするコーナーでは、予想以上に参加してくださりとっても華やかになりました。「咲」という字は、「笑」と同じ意味を持つそうです。そのとおりに、とても笑顔いっぱい報恩講になりました。



総代会

十一月十五日

今年から年度を四月から九月に変更したため、四〇八月の行事と決算報告、並びに、新年度の行事案、会計案を審議、決議しました。

今年度より縮小予算の対策として、特別会計（内陣法名）を一般会計へ繰り入れ、人件費を削

減（五十万円減）します。年度の変更も運営体制を潤滑に行うためのひとつです。

善巧寺の会計はとても厳しい状況が続いていますが、少しでもよくなるように邁進していきますので、どうぞご協力のほどよろしく願っています。行事へのご参加が何よりもお寺の支えとなります。



※毎月の法座、年に一度の法要へお参り下さい。
※回忌法事は大切におつとめしましょう。

聞法の秋

六月から再開したほっこり法座は、コロナ禍

での会食を避けるためにお講の料理当番は休止

していますが、法座は止めていきましたが、法座は止めていきましたが、十一月は空華忌と行信講座も開催され、制限された中ではありますが、滞りなく

つとめることができました。世の中の諸行事が数多く休止する中で、仏縁を途絶えることなく行えたことは、何よりも有り難いことです。

参加者数はある程度少なくなることを想定していましたが、ほぼ例年どおりにお参りくださり、行事によつては以前より増えた法座もありました。参加者の声を一部紹介します。

「久しぶりに参加させていただいて何か心がほっこりしました。」

「コロナの状況ばかり聞かされている今だから

こそ、仏さまの教えが本当に心にしみました。」

「お寺にお参りすると心がやすまる。浦山へ来ると昔のことを懐かしく思い出す」

「久しぶりの法座で清々しい気持ちになれました。コロナ感染で起きたこと、改めて考えさせられました。」

「日常をなにげなく過ごしているが、すこし、立ち止まって考える時間を与えてもらいました。」



10/16 奥野寛暢先生



10/1 雪山俊隆



11/19 正信偈に学ぶ（天岸浄圓先生）



11/1 グリーフケア講座（五藤広海先生）



12/16 福田慶隆先生



12/1 村井敬成先生



11/16 青木哲隆先生



12/7 清掃奉仕



10/5 清掃奉仕



ほっこり法座のお弁当

ほんこさまの準備

- ・朱色のろうそく
- ・お仏飯
- ・お花
- ・お布施、年会費（11,000 円）

※感染予防のため、お茶お菓子の
ご接待は遠慮させていただきます。



冬季の上法事

お寺での法事「上法事」は、冬季
期間中、暖房の効いた奥座敷（二〇
名以内）で行います。本堂をご希望
の方はお申込み時にお伝え下さい。



御正忌

親鸞聖人の祥月命日に
つとまる法要です。

一月一五日（金）
午後一時半 法要
一六日（土）
午後一時半 法要

ほっこり法座

午前十二時

二月一日（月）
今小路寛淳先生
二月一六日（火）
日下賢裕先生
三月一日（月）
奥野寛暢先生
※お講当番は休止です。

いっねんきやま

お軸を五幅用意して
親鸞聖人の法事として、
五十回忌に合わせて行う
一世一代の法事「ごねん
きさま」をご存知でしょ
うか？お寺の吊り鐘や導
師の座席「礼盤」など本
堂の仏具一式を大移動し
て、おつとめでは参加者
全員で練り歩く「行道」、
花びらに見立てたケハを
まく「散華」を行います。
法事にもいくつか種類が
ありますので、お寺まで
ご相談下さい。



寺
ごよみ

二 月

寺
ごよみ

三 月

一 日	ほっこり法座
一〇日	生地・荻生・植木
一二日	生地・荻生・植木
一五日	生地・荻生・植木
一六日	ほっこり法座
一七日	入善報恩講
一八日	入善報恩講
二二日	舟見報恩講
二四日	熊野・栃屋報恩講
二六日	熊野・栃屋報恩講
一 日	ほっこり法座
四 日	三日市報恩講
五 日	三日市報恩講
八 日	三日市報恩講
一〇日	下立報恩講
一一日	下立報恩講
一二日	下立報恩講
一五 日	おこう（栃沢）
一六 日	浦山報恩講
一七 日	浦山報恩講
一八 日	浦山報恩講
二二 日	浦山報恩講
二三 日	浦山報恩講
二四 日	浦山報恩講
二九 日	浦山報恩講
三〇 日	浦山報恩講

合 掌

昨年は何と言ってもコ
ロナに翻弄される一年
でした。厳しい環境だか
らこそ、慣例で行ってい
たことを改めて見つめ直
し、挑戦できたこともた
くさんありました。花ま
つりや盆踊り、お講が休
止となり、インターネット
ト配信やリモート法事の
環境を整えることによっ
て、情報だけでは伝わら
ない本堂の場力を再確認
しました。中でも、永代
祠堂会の六日間分散法
要、報恩講の地域分散法
要、お華束の取り止めに
伴い参拝者へお花のお供
えを呼び掛けるなど、異
例な年だからこそ行えた
こともありまます。子供
たちと過ごす時間が増え
たことも貴重な体験でし
た。新年もどうぞよろし
くお願い致します。

